



# 決算説明会

42期(2010年3月期)

大研医器株式会社

2010年6月1日

代表取締役社長

常務取締役管理本部長

管理本部財務経理統括マネジャー

山田 圭一

大浜 正彦

平井 靖人

# 目次

## I.事業概要

## II.2010年3月期 決算概要

## III.2011年3月期 業績見通し・成長戦略



# I. 事業概要



「クーデック」とは、「クーデター・バイ・テクノロジー」という意味の造語で、当社が展開する商品の統一ブランドです。独創的な技術で医療に革命をもたらしたいという、当社の想いが込められています。

# 会社概要



ISO 13485:2003

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 社名   | 大研医器株式会社                      |
| 所在地  | 大阪市中央区道修町3丁目6番1号              |
| 代表者  | 代表取締役会長 山田 満<br>代表取締役社長 山田 圭一 |
| 設立   | 1968年11月                      |
| 資本金  | 495百万円(2010年3月末)              |
| 従業員数 | 117名(2010年3月末)                |
| 事業種目 | 医療用機械器具製造販売                   |
| 売上高  | 57億3,936万円(2010年3月期)          |
| 経常利益 | 8億1,913万円(2010年3月期)           |

## 事業の特徴と方向性

- 当社は大学病院等の最先端医療現場のニーズから、特許性のある画期的な製品を開発する研究開発型の医療機器メーカーである。
- 大手病院に対して直接営業を行い、医療現場と太いパイプでつながっている。
- 採算性の高い DISPOSABLE 製品を主軸としており、既存ユーザーからの安定的な需要を確保している。
- 今後、当社が得意とする麻酔科領域と連携している外科、救命救急等へ対象医科領域を拡大し、製品開発を進めていく。
- 国内の約10倍の市場規模を有する海外への展開を積極的に推進していく。

特徴

方向性

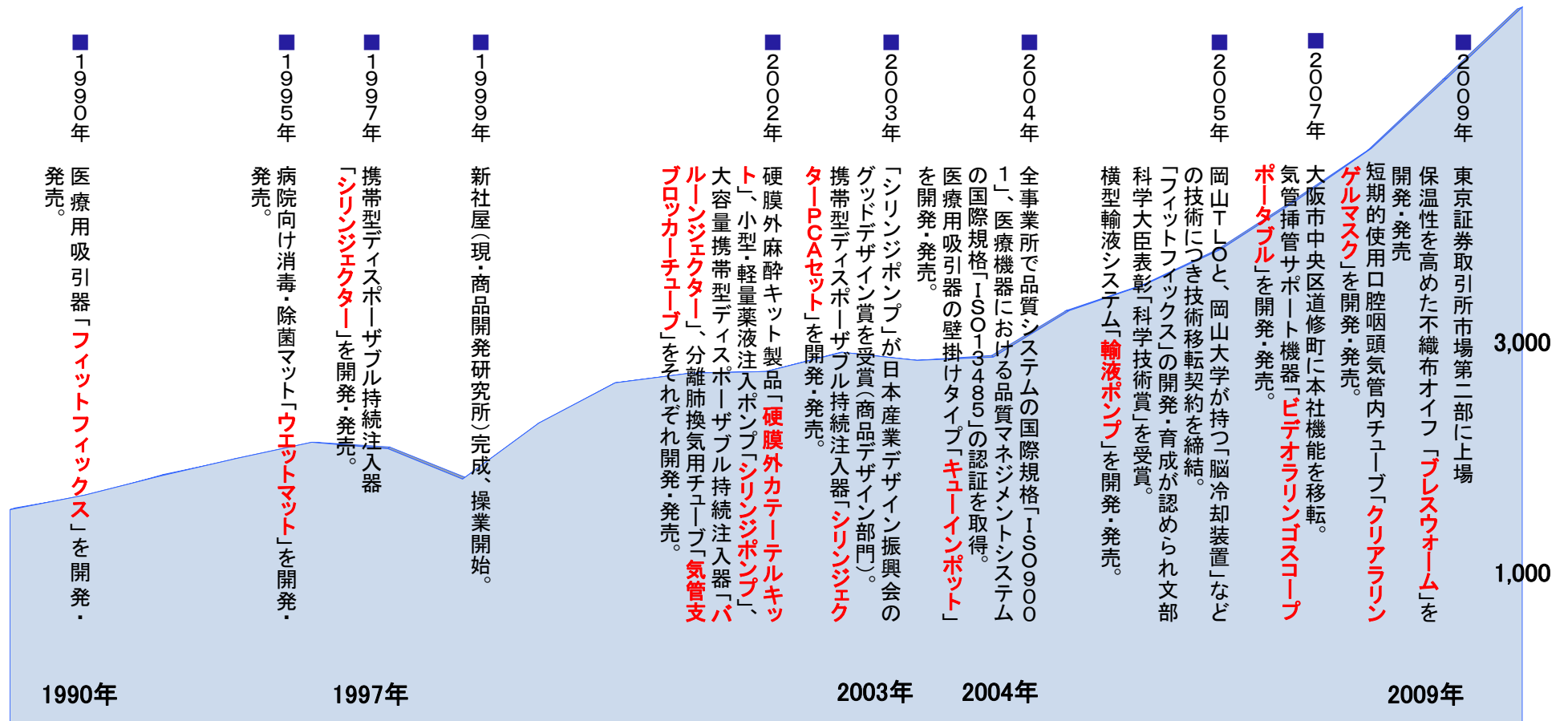
**医療現場第一主義の研究開発型医療機器メーカー**

# 沿革

売上高の推移  
(百万円)

|       |               |
|-------|---------------|
| 1968年 | 医療機器販売会社として創業 |
| 1990年 | 本格的なメーカーとして始動 |

**2009年度 5,739**



# 事業セグメント(2010.03期)



## <手洗い装置関連>

無菌水で手を洗う装置  
 右は手を拭くワイペル



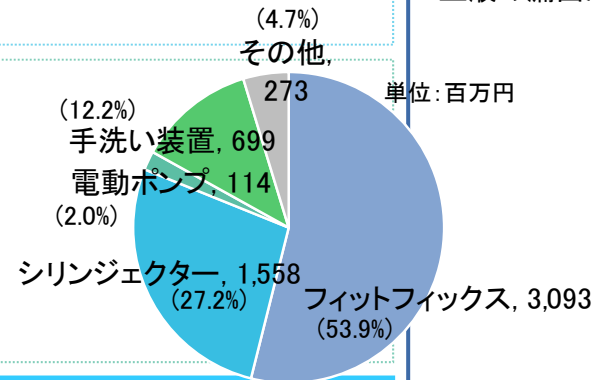
## <電動ポンプ関連>

電動式ポンプ、何台も  
 まとめられるコンパクトな装置



## <シリンジェクター関連>

流量制御のためのスパイラル細管と  
 真空を利用して一定の薬液投与を確保



## <フィットフィックス関連>

### フィットフィックス

医療用吸引器、血液凝固剤が  
 既に入っている密封容器、  
 血液の漏出が無く安全に廃棄



### QinPot

05.3期に投入された新製品  
 病棟における廃液処理に便利

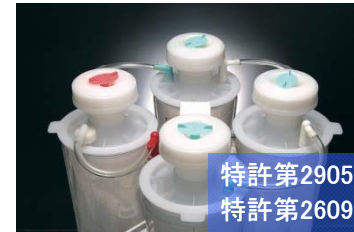
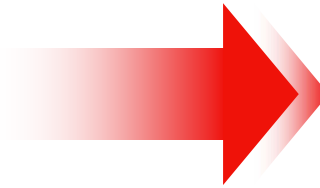
**ディスポーザブル製品が主軸**

# 主要製品概要 ~フィットフィックス関連(吸引器)

ガラス瓶



院内感染の脅威

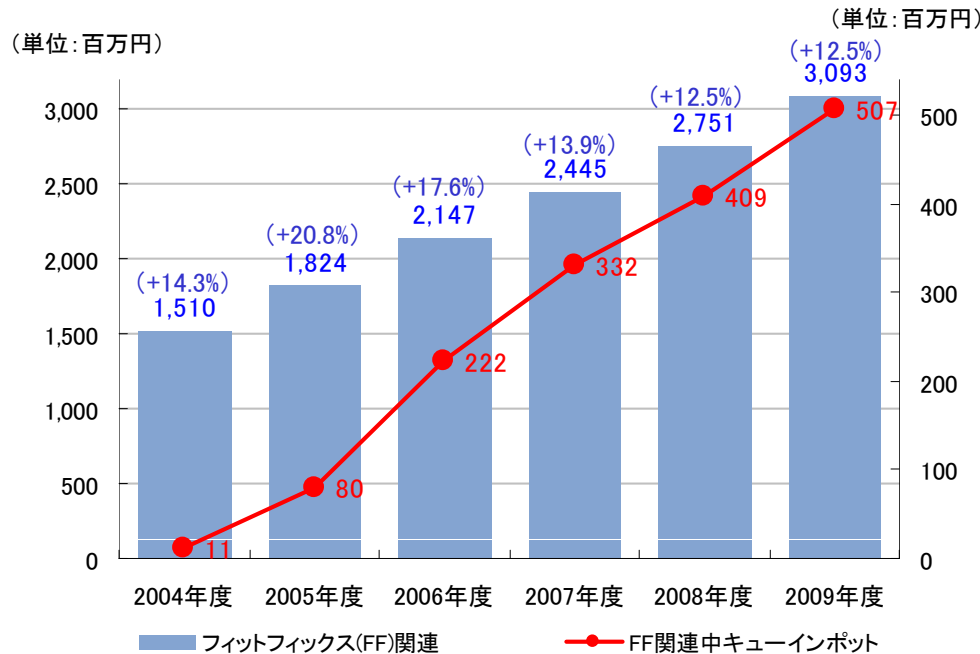


フィットフィックス



QinPot

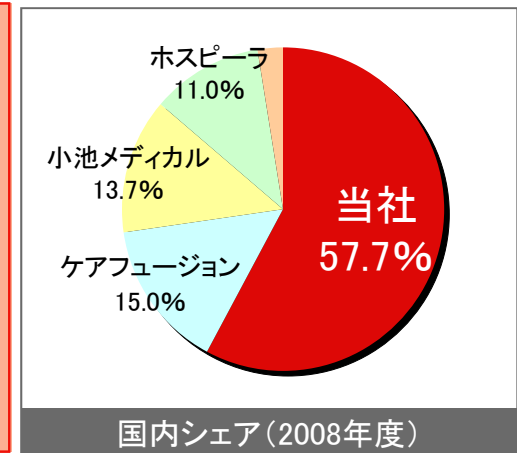
## フィットフィックス関連売上推移



手術中に出る血液・体液等の廃液を吸引し、密閉容器内で凝固する凝固剤一体型吸引器。

血液暴露による感染症を防止し、看護師の負担を大幅に軽減できる。

ガラス瓶からの  
置換えで  
約40億円の市場を  
創出



出典：矢野経済研究所

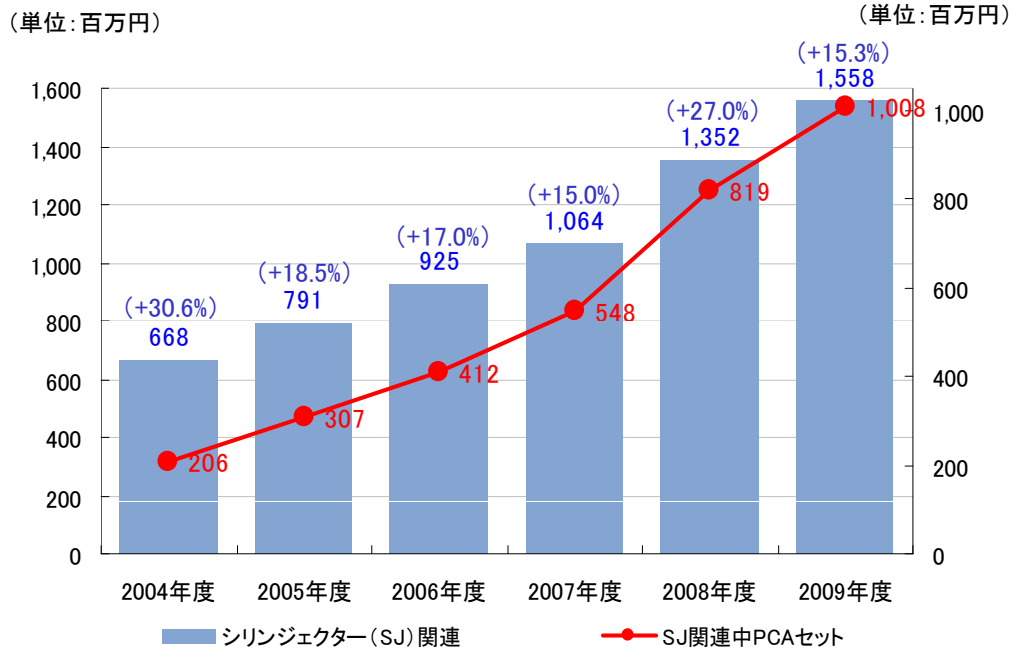
「2009年版 汎用品市場の将来展望」



# 主要製品概要 ～シリンジェクター関連(持続注入器)

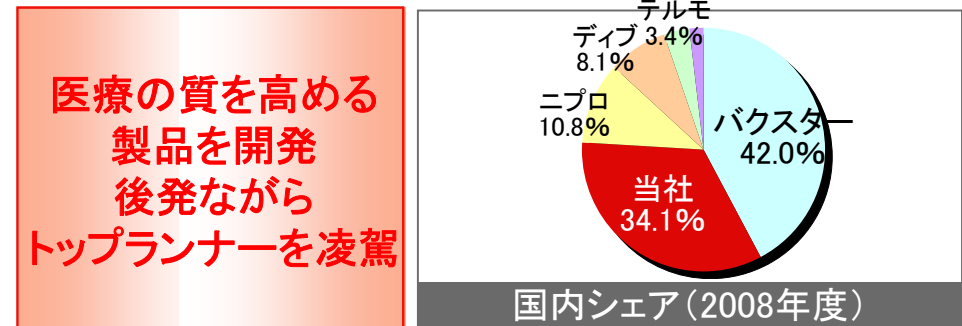


## シリンジェクター関連売上推移



麻酔剤、鎮痛剤等を持続的に一定の流量で投与するために使用する製品。

特許技術の大気圧式による注入器「シリンジェクター」は、流量の安定性が高く、効果的な医薬品投与を可能にする。



医療の質を高める  
製品を開発  
後発ながら  
トップランナーを凌駕

出典：矢野経済研究所

「2009年版 汎用品市場の将来展望」



## Ⅱ. 2010年3月期 決算概要

## □業績の推移

(単位:百万円)

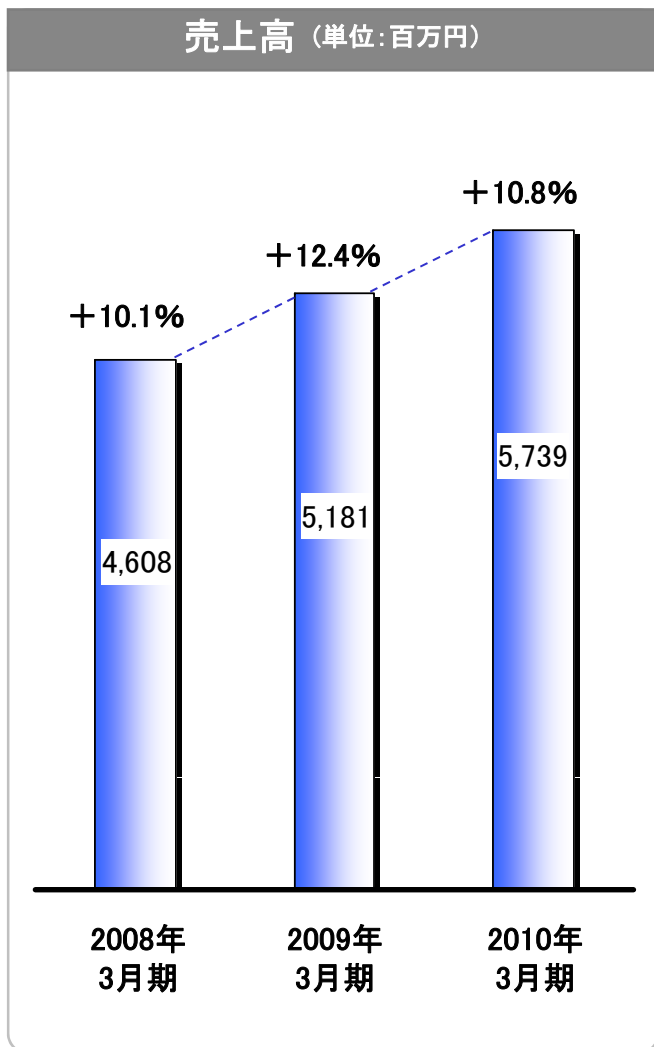
|          | 2009年3月期      | 2010年3月期<br>(予想) | 2010年3月期      | 前年同期比        | 予想対比         |
|----------|---------------|------------------|---------------|--------------|--------------|
|          | 金額            | 金額               | 金額            | 金額<br>増減率    | 金額<br>増減率    |
| 売上高      | 5,181         | 5,700            | 5,739         | 557<br>10.8% | 39<br>0.7%   |
| 売上総利益(率) | 2,535 (48.9%) | 2,772 (48.6%)    | 2,812 (49.0%) | 277<br>10.9% | 40<br>1.5%   |
| 販管費(率)   | 1,827 (35.3%) | 2,002 (35.1%)    | 1,977 (34.4%) | 149<br>8.2%  | △25<br>△1.3% |
| 営業利益     | 707           | 770              | 835           | 128<br>18.1% | 65<br>8.5%   |
| 経常利益(率)  | 635 (12.3%)   | 750 (13.2%)      | 819 (14.3%)   | 183<br>28.8% | 69<br>9.2%   |
| 当期純利益    | 369           | 431              | 487           | 118<br>31.9% | 56<br>13.0%  |

※上記の予想値は、2009年10月30日に修正発表を行った業績予想値であります。

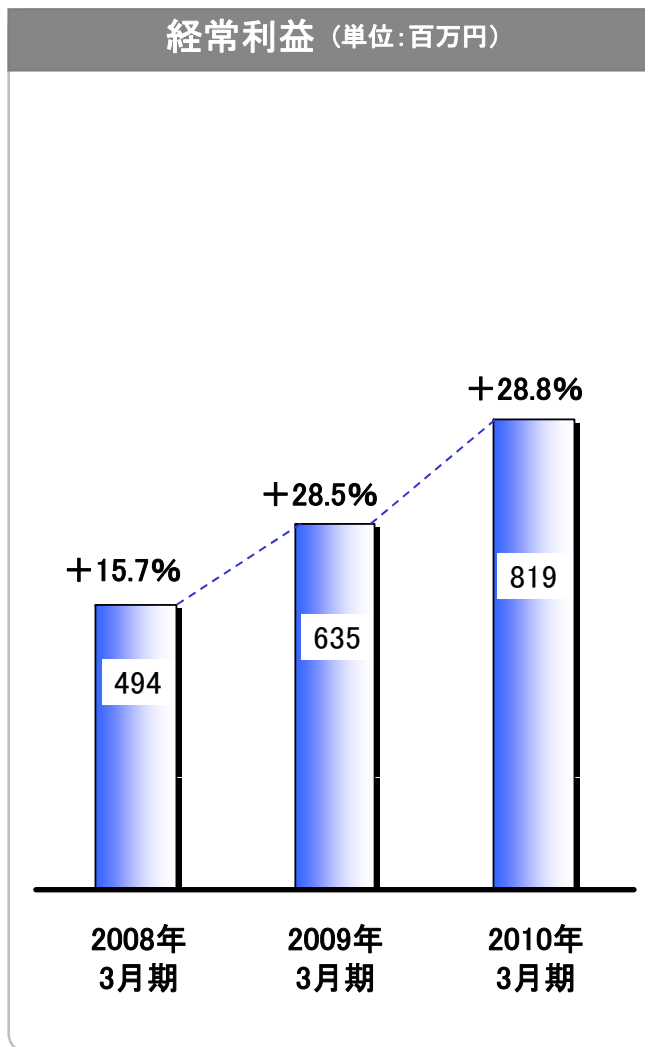
※2009年3月期は、東証2部株式上場に関する費用を計上しております。

# □ 2010年3月期売上・利益状況

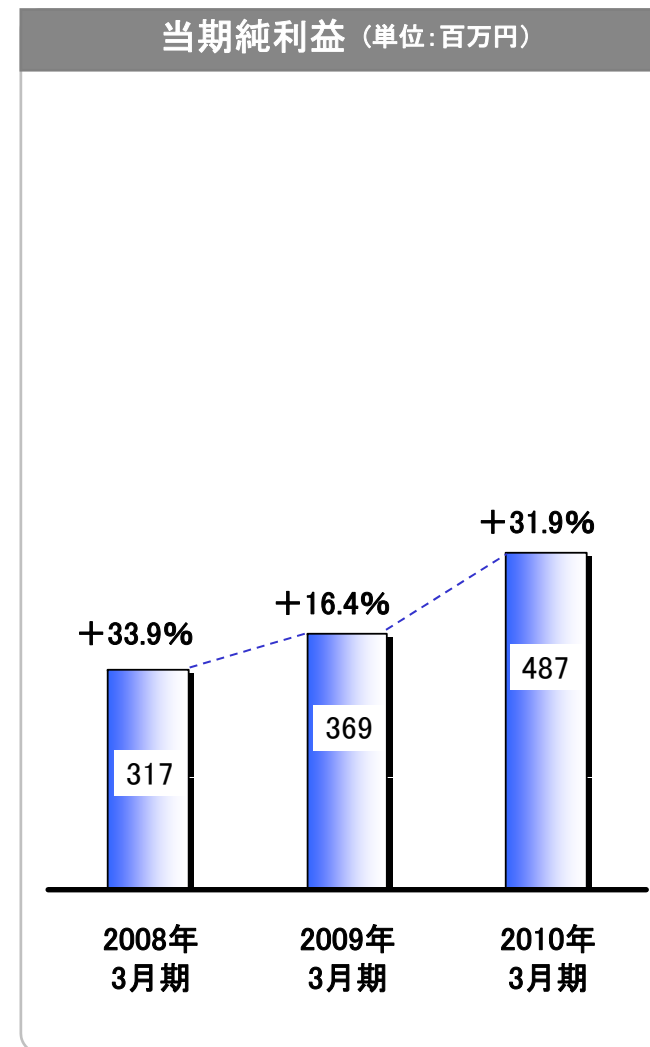
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



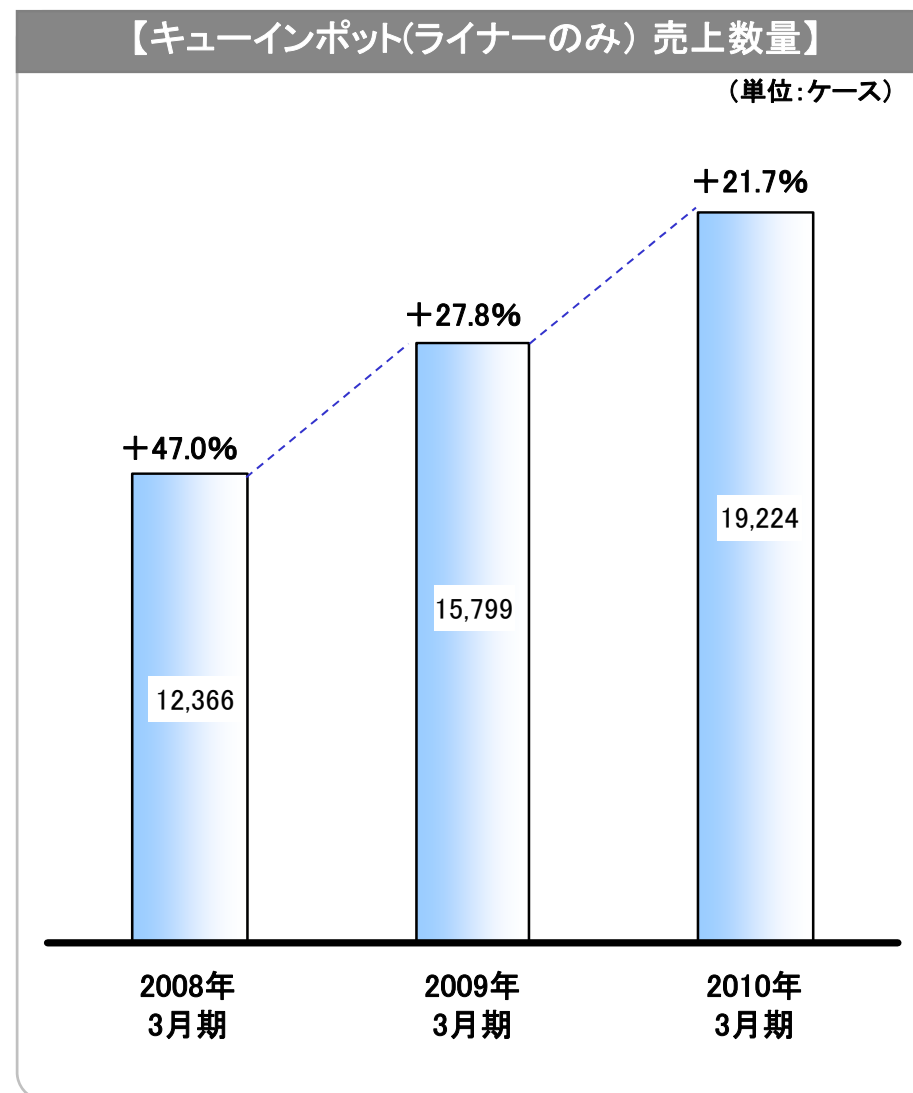
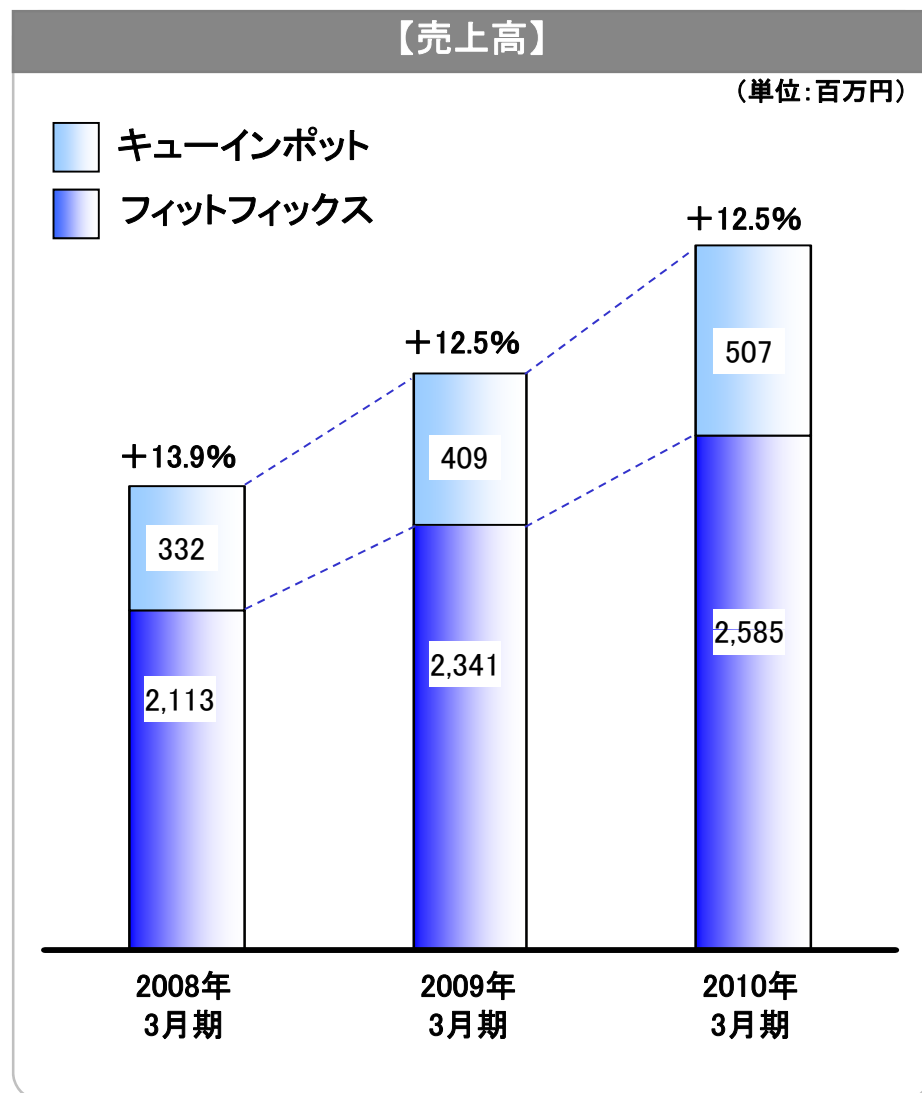
## □売上構成(セグメント別)の推移

### キューインポット・PCAセットが牽引

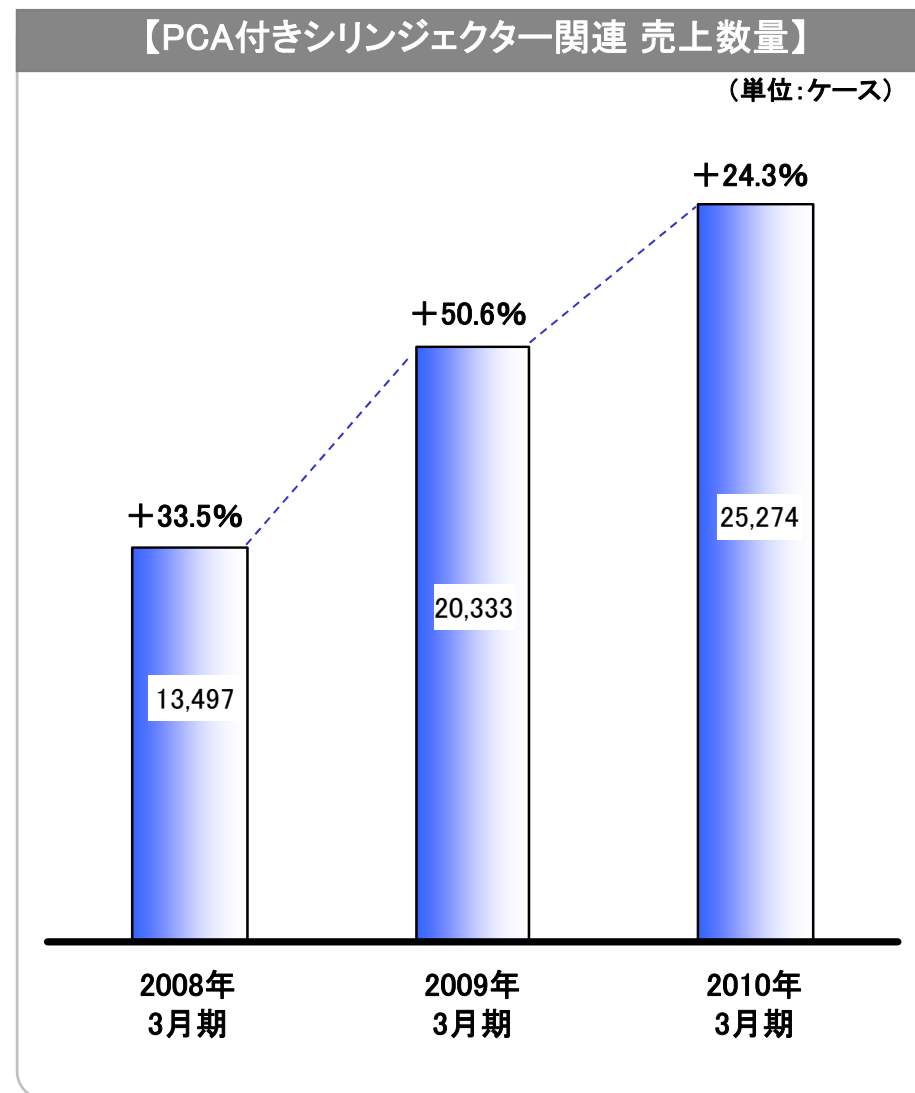
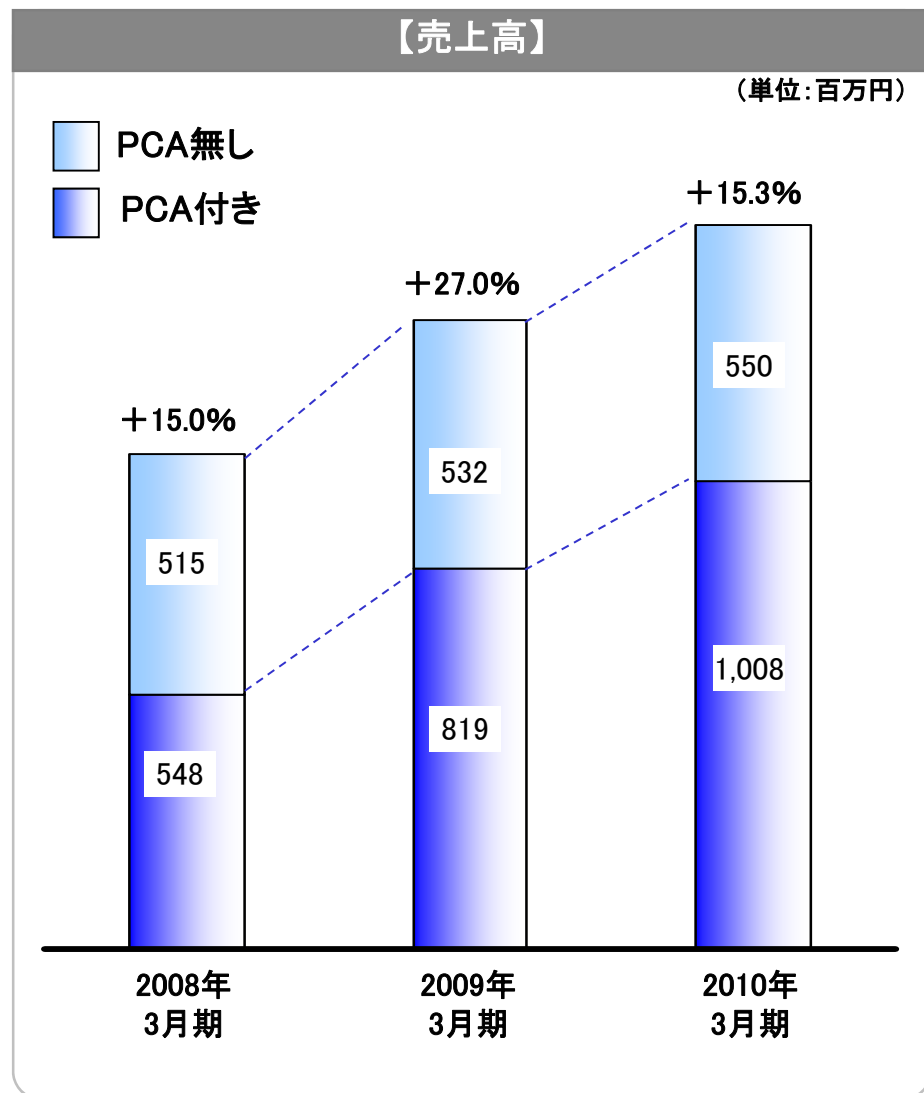
(単位:百万円)

|                              | 2009年3月期       |                  | 2010年3月期         |                  | 前年同期比            |
|------------------------------|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|                              | 金額             | 構成比              | 金額               | 構成比              | 増減率              |
| フィットフィックス 関連<br>(キューインポットのみ) | 2,751<br>(409) | 53.1%<br>(7.9%)  | 3,093<br>(507)   | 53.9%<br>(8.8%)  | 12.5%<br>(24.0%) |
| シリンジェクター 関連<br>(PCAセットのみ)    | 1,352<br>(819) | 26.1%<br>(15.8%) | 1,558<br>(1,008) | 27.2%<br>(17.6%) | 15.3%<br>(23.1%) |
| 電動ポンプ 関連                     | 111            | 2.1%             | 114              | 2.0%             | 3.1%             |
| 手洗い設備 関連                     | 685            | 13.2%            | 699              | 12.2%            | 2.1%             |
| その他                          | 282            | 5.5%             | 273              | 4.7%             | △3.3%            |
| 合計                           | 5,181          | 100.0%           | 5,739            | 100.0%           | 10.8%            |

## 《フィットフィックス関連》

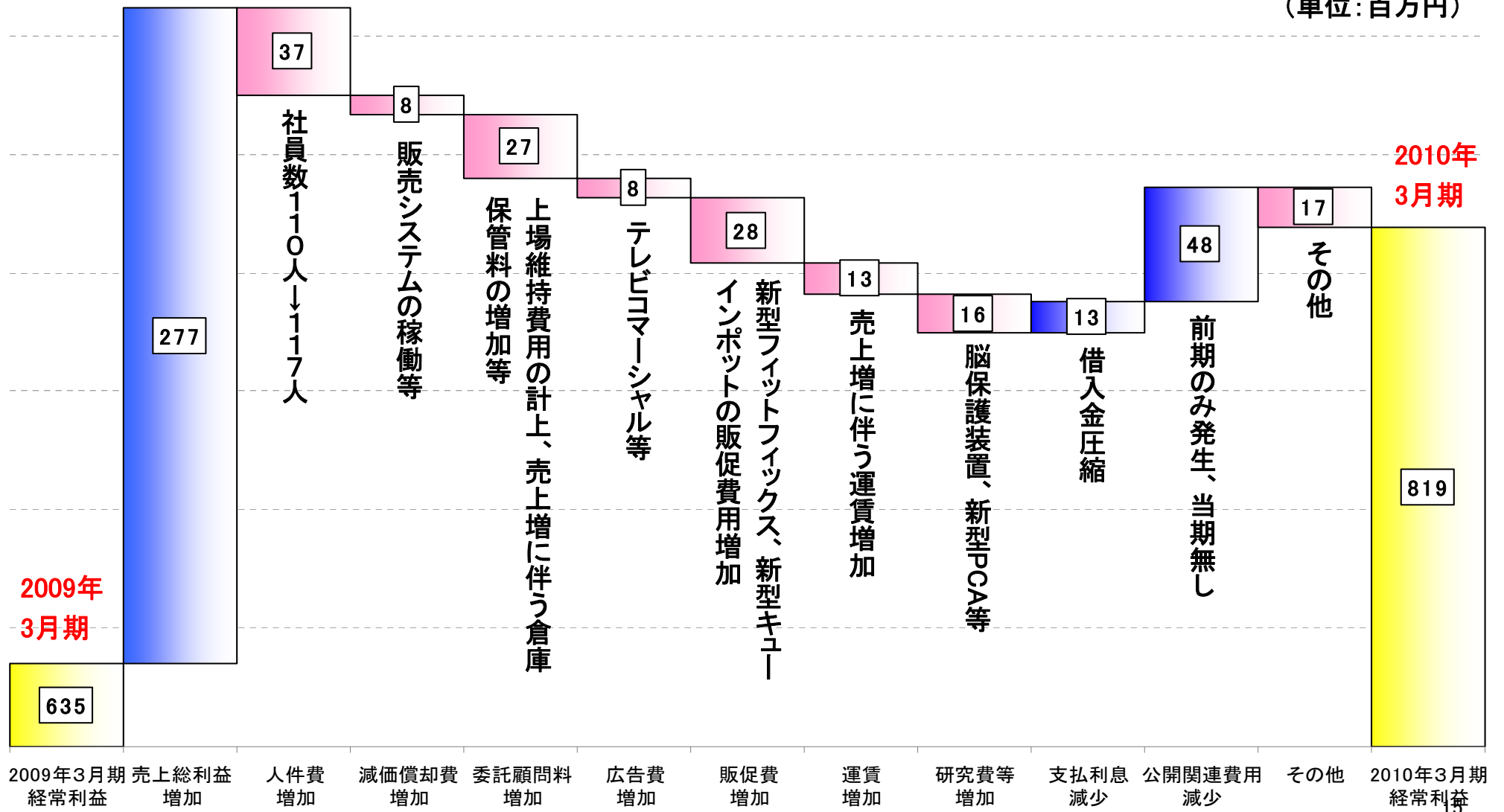


## 《シリンジェクター関連》



# □ 2010年3月期決算のポイント(経常利益差異分析)

(単位:百万円)

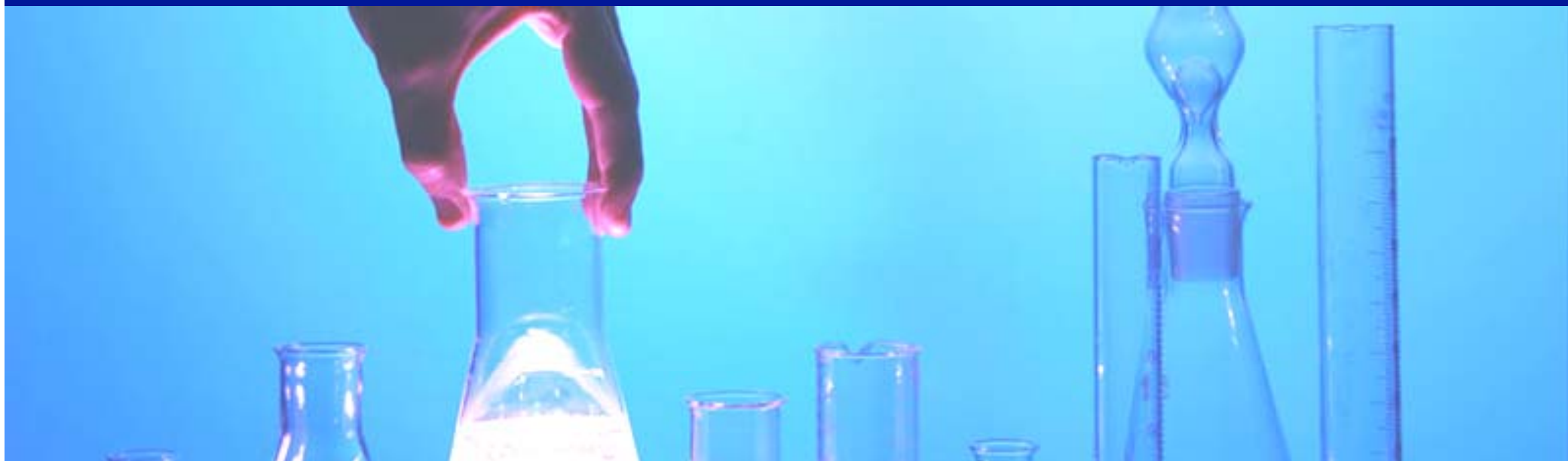




## □ 財政状態（貸借対照表主要科目）

（単位：百万円）

|                 | 2009年3月期     | 2010年3月期     | 増減          | 主な変動要因          |
|-----------------|--------------|--------------|-------------|-----------------|
| 現金預金            | 1,161        | 1,153        | △7          |                 |
| 受取手形、売掛金        | 1,857        | 2,123        | 265         | 売上の増加に伴う        |
| たな卸資産           | 702          | 724          | 22          |                 |
| 固定資産            | 2,687        | 2,668        | △19         |                 |
| その他             | 500          | 530          | 29          |                 |
| <b>資産合計</b>     | <b>6,908</b> | <b>7,200</b> | <b>291</b>  |                 |
| 支払手形、買掛金        | 575          | 681          | 106         | 仕入の増加に伴う        |
| 短期・長期借入金、社債     | 1,991        | 1,752        | △238        | 借入金の圧縮に努める      |
| 未払金・未払費用        | 295          | 325          | 30          |                 |
| その他             | 765          | 751          | △13         |                 |
| <b>負債合計</b>     | <b>3,627</b> | <b>3,512</b> | <b>△115</b> |                 |
| <b>純資産合計</b>    | <b>3,281</b> | <b>3,688</b> | <b>406</b>  | 純利益487、支払配当金△79 |
| <b>負債・純資産合計</b> | <b>6,908</b> | <b>7,200</b> | <b>291</b>  |                 |



## Ⅲ. 2011年3月期 業績見通し・成長戦略

## □ 2011年3月期業績と配当の見通し

2011年3月期も増収増益見通し

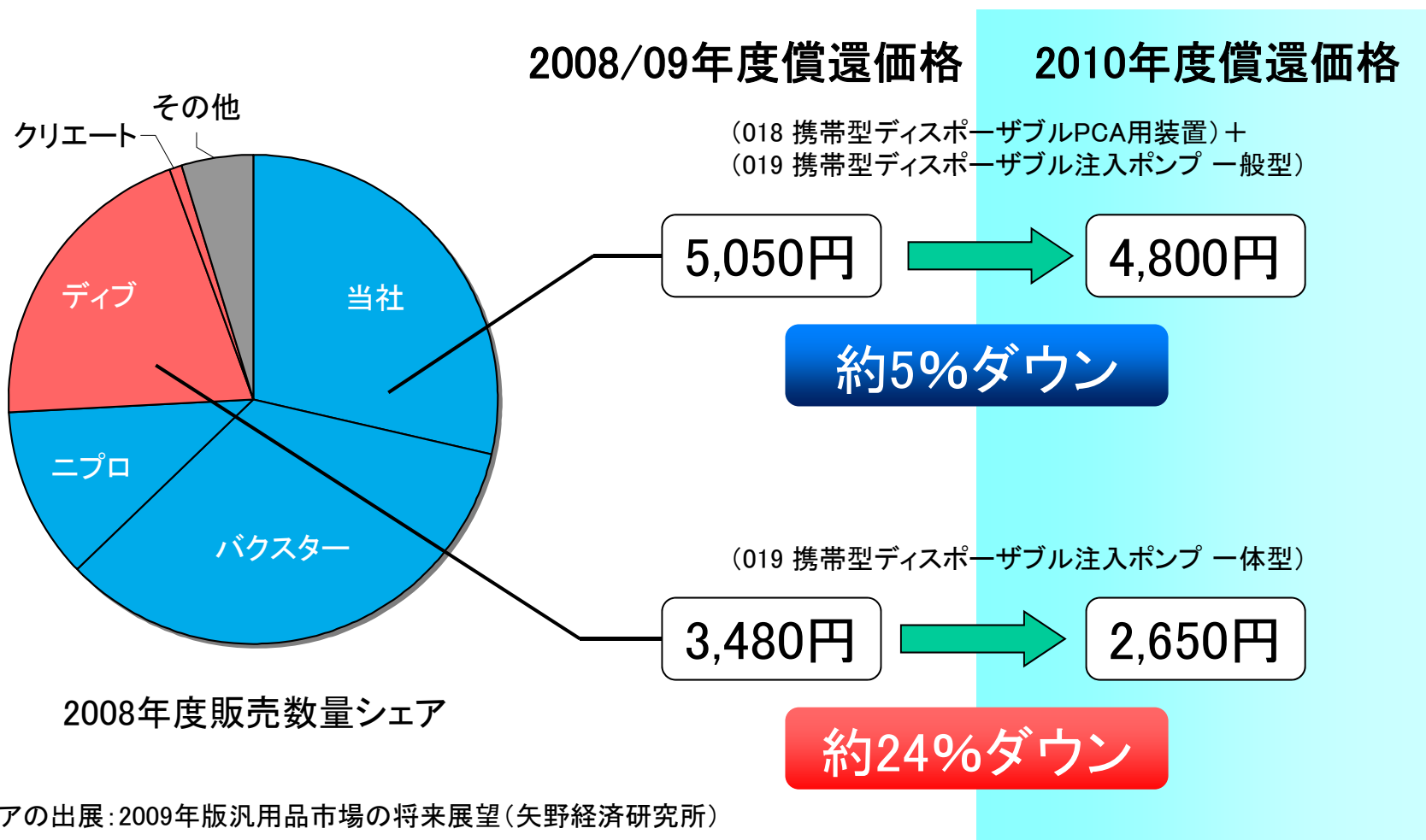
|          | 2010年3月期<br>(実績) | 2011年3月期<br>(見通し) | 増加率   |
|----------|------------------|-------------------|-------|
| 売上高      | 5,739百万円         | 6,200百万円          | 8.0%  |
| 営業利益     | 835百万円           | 981百万円            | 17.5% |
| 経常利益     | 819百万円           | 900百万円            | 9.9%  |
| 当期純利益    | 487百万円           | 526百万円            | 7.9%  |
| 1株当たり配当額 | 17.0円            | 22.0円             | 29.4% |

## □2011年3月期商品群別売上見通し

**キューインポット・PCAセットが引き続き好調に推移**

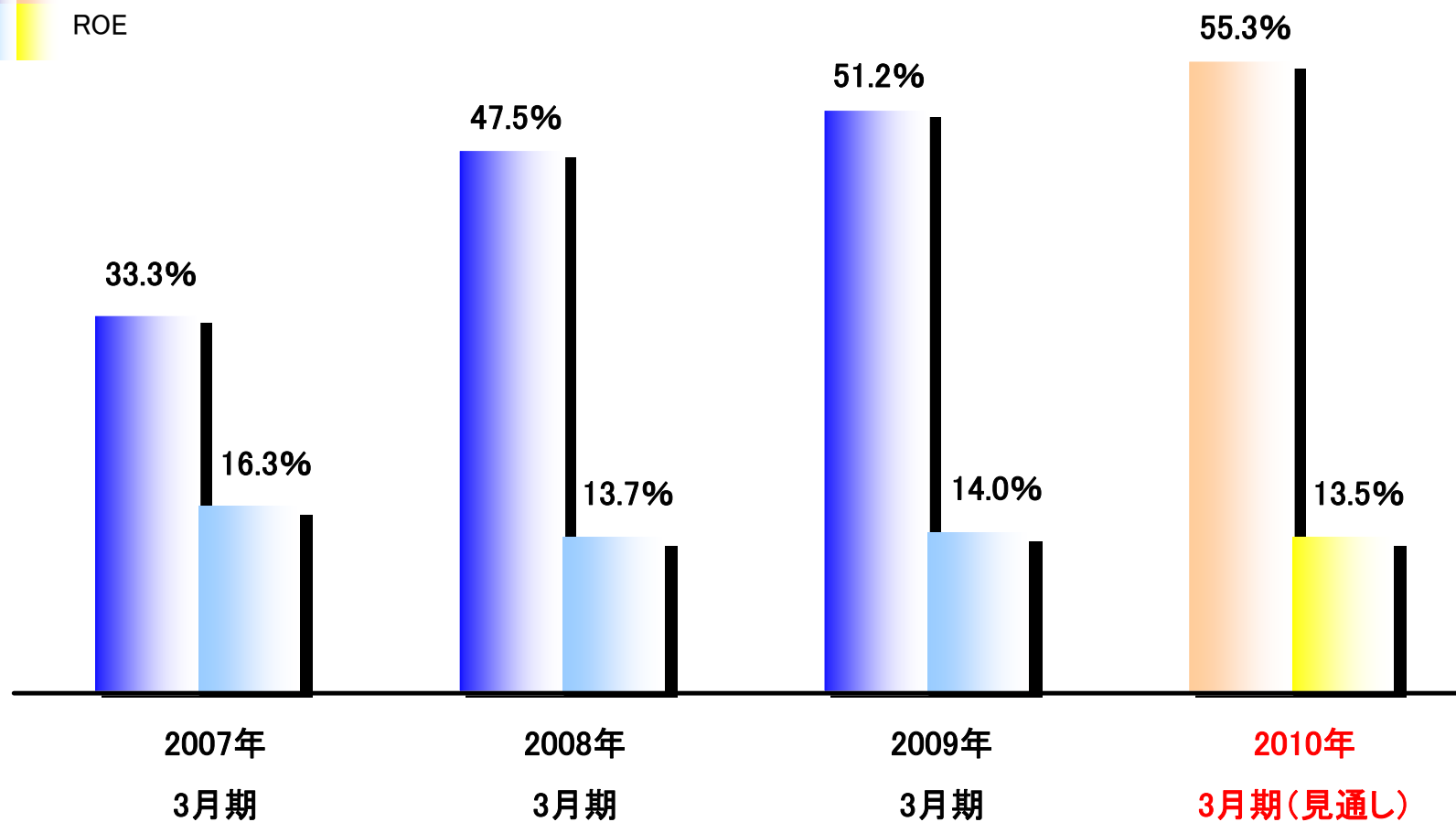
|                              | 2010年3月期<br>(実績) |                | 2011年3月期<br>(見通し) |                |                |
|------------------------------|------------------|----------------|-------------------|----------------|----------------|
|                              | 金額<br>(百万円)      | 構成比<br>(%)     | 金額<br>(百万円)       | 構成比<br>(%)     | 増減比<br>(%)     |
| フィットフィックス 関連<br>(キューインポットのみ) | 3,093<br>(507)   | 53.9<br>(8.8)  | 3,215<br>(598)    | 51.8<br>(9.7)  | 3.9<br>(17.9)  |
| シリンジェクター 関連<br>(PCAセットのみ)    | 1,558<br>(1,008) | 27.2<br>(17.6) | 1,863<br>(1,265)  | 30.1<br>(20.4) | 19.5<br>(25.4) |
| 電動ポンプ 関連                     | 114              | 2.0            | 112               | 1.8            | △1.6           |
| 手洗い設備 関連                     | 699              | 12.2           | 658               | 10.6           | △5.9           |
| その他                          | 273              | 4.7            | 350               | 5.7            | 28.4           |
| 合計                           | 5,739            | 100.0          | 6,200             | 100.0          | 8.0            |

# 特定保険医療材料における償還価格



# □ ROE10%以上を維持

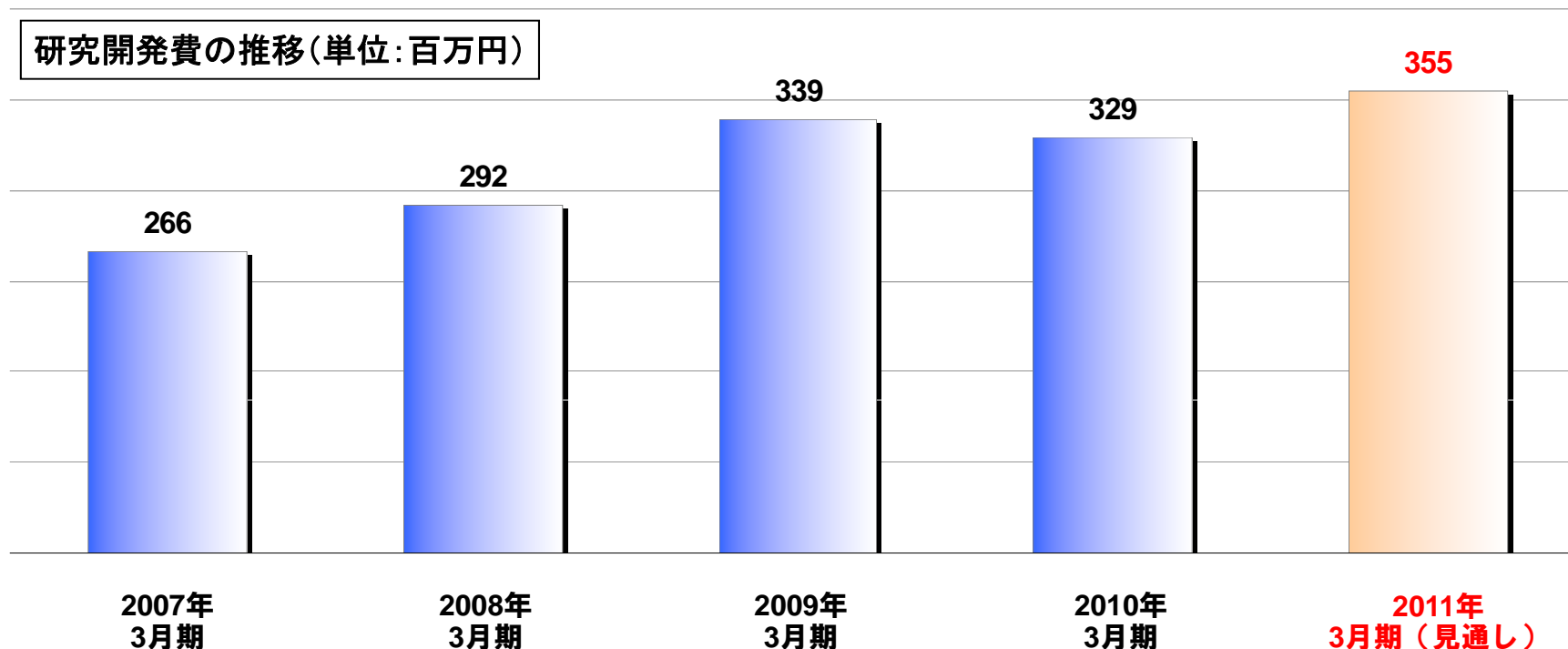
自己資本比率  
 ROE



## ■ 研究開発費

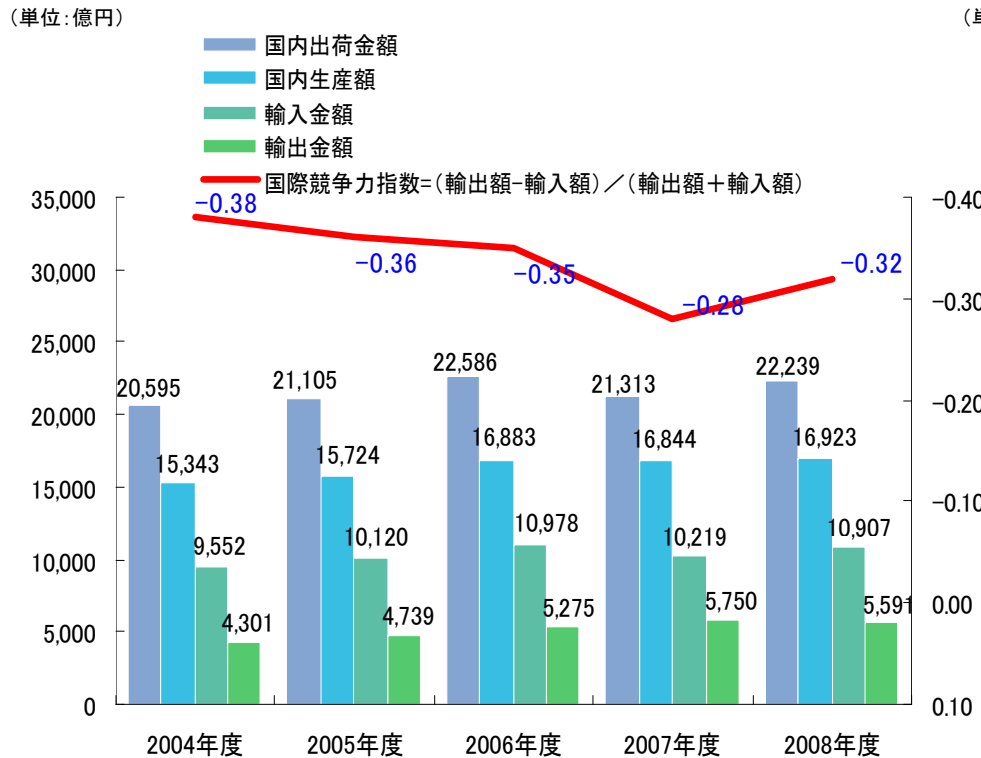
**研究開発費比率（対売上高）は毎年6%～8%内外で推移**

- 2010年3月期は、脳保護装置・新型PCAに重点投資
- 2011年3月期は、新型PCAの年度内薬事承認に向け展開



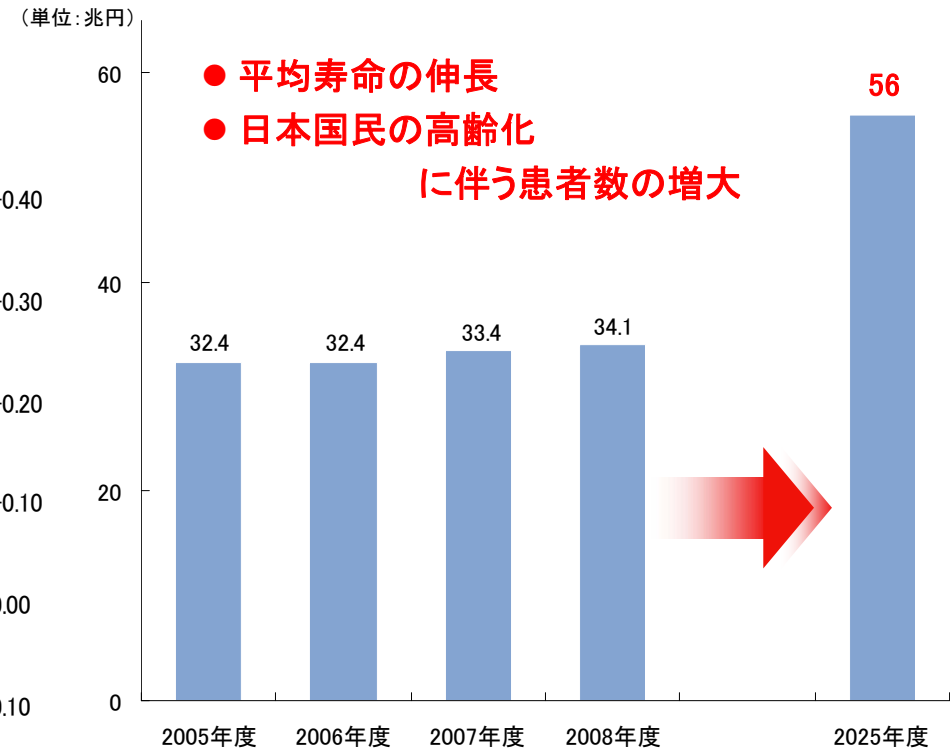
# 市場規模(国内)

## 国内医療機器市場の推移(出荷数ベース)



出典) 厚生労働省 2008年薬事工業生産動態統計

## 国内医療費の推移



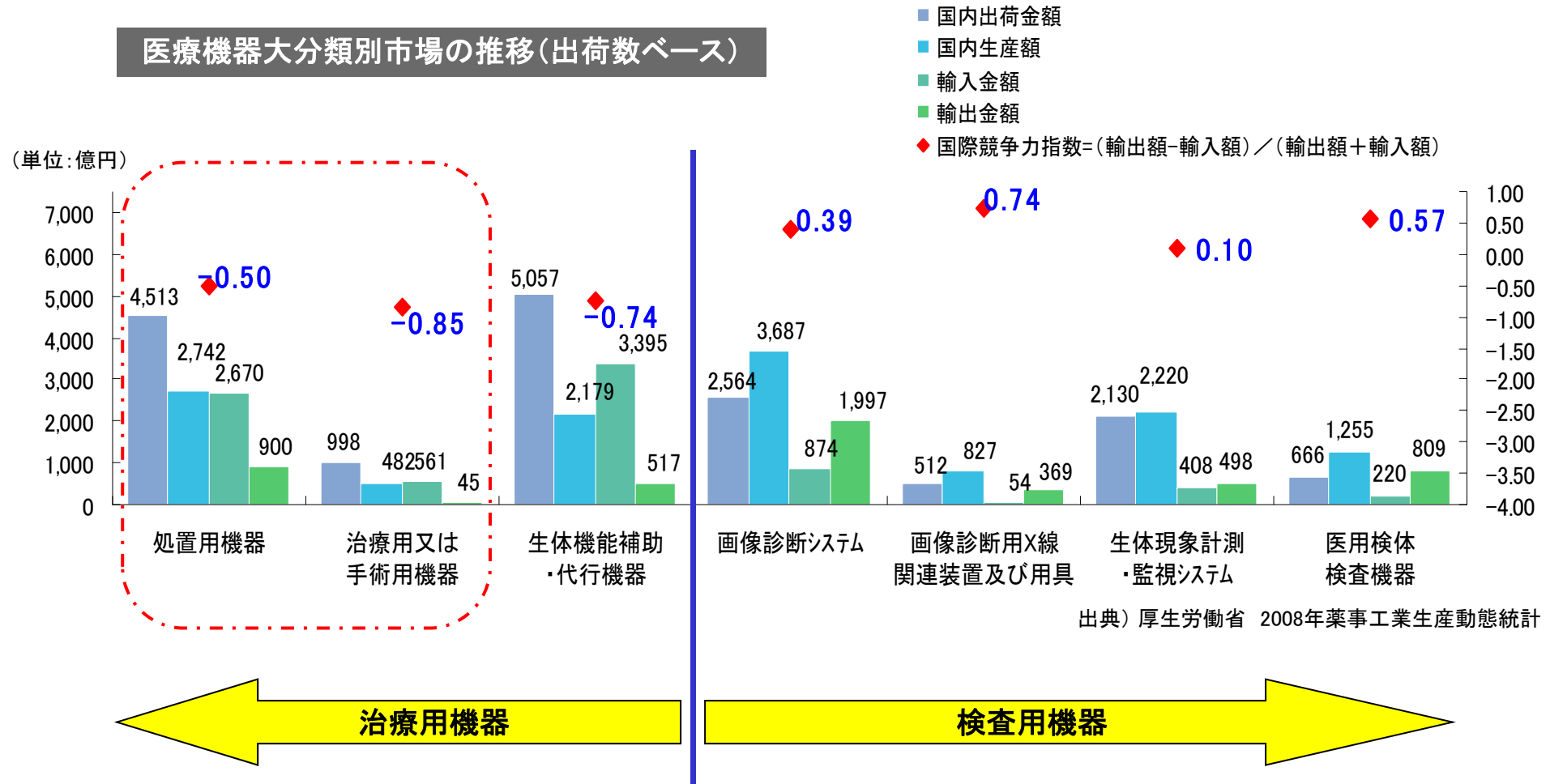
出典) 厚生労働省 2008年度医療費の動向  
厚生労働省 2006年社会保障の給付と負担の見直し

**高齢化に伴う患者数増大でマーケットは拡大が見込まれる**



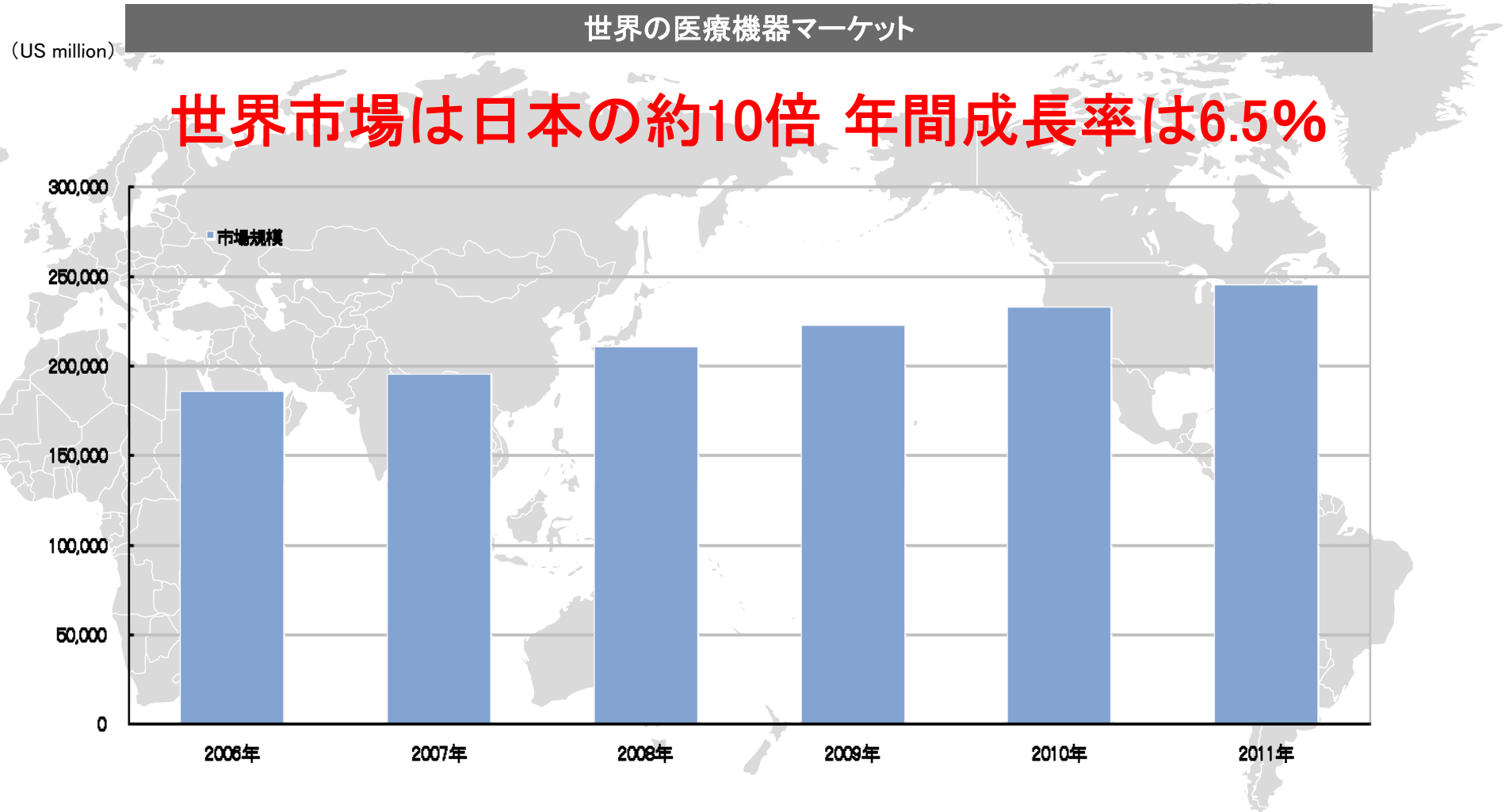
# 市場規模(国内:分類別)

医療機器大分類別市場の推移(出荷数ベース)



当社の主戦場である治療用機器市場は、圧倒的に輸入超過である。

# 市場規模(海外)



出典) 厚生労働省 2008年新医療機器・医療技術産業ビジョン

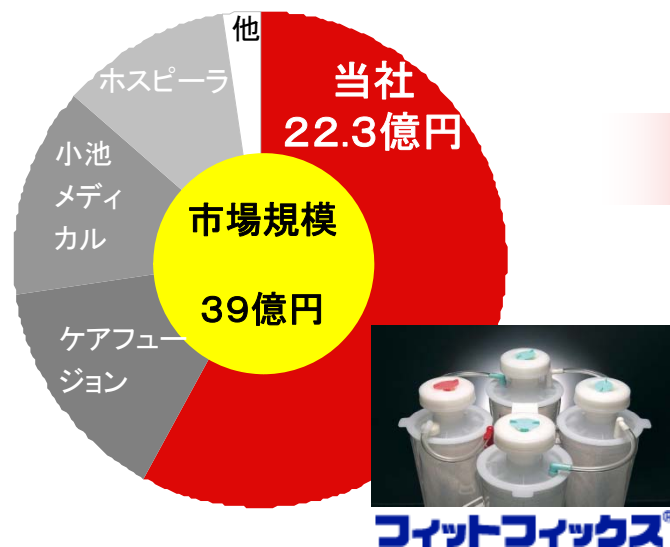
# 今後の成長戦略

|   |   |  |
|---|---|--|
| 製品  | <p style="text-align: center;"><b>① 既存製品</b></p> <p style="text-align: center;"><b>現存市場の強化・拡大</b></p> <p>現存市場での競争力を高め、周辺市場を取り込む</p> <p>&lt;具体例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・QinPot ……病棟市場のディスプレイ化</li> <li>・シリンジエクター ……<b>新型PCA装置</b></li> <li>・シリンジエクター ……薬液のプレフィルド化(研究段階)</li> </ul> | <p style="text-align: center;"><b>② 新製品</b></p> <p style="text-align: center;"><b>医科領域拡大</b></p> <p>これまでに確立した麻酔科との信頼関係を手がかりに外科、救命救急等への連携医科領域を拡大する</p> <p>&lt;具体例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳保護装置(研究段階)</li> <li>・首都圏にて外科専門マーケティング部隊設置</li> </ul> |
|   | 市場  | <b>③ 海外展開</b>  |
| <p style="text-align: center;"><b>海外市場</b></p> <p>代理店を通じて海外展開を積極推進</p> <p>&lt;具体例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに40ヶ国以上、49の代理店と契約済</li> </ul> |   | <p style="text-align: center;"><b>海外生産</b></p> <p>品質維持を大前提として、アジア等での生産を推進<br/>コストダウンを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型フィットフィクス ……2009/11より海外生産開始</li> <li>・新型QinPot ……2009/10より海外生産開始</li> </ul>  |

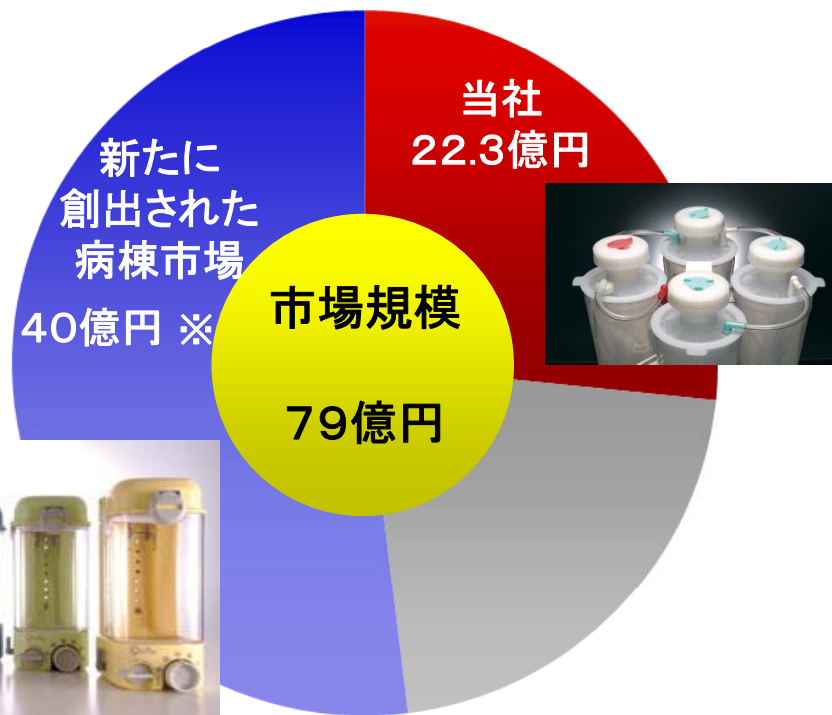
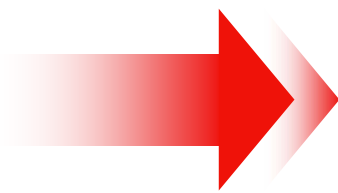
# フィットフィックス関連 ～病棟にも安全と簡便を

手術室における吸引器トップシェアのフィットフィックスに続き、病棟専用開発されたキューインポットが、新たに40億円の市場を創出。

国内市場シェア(2008年度)



フィットフィックス®



QinPot

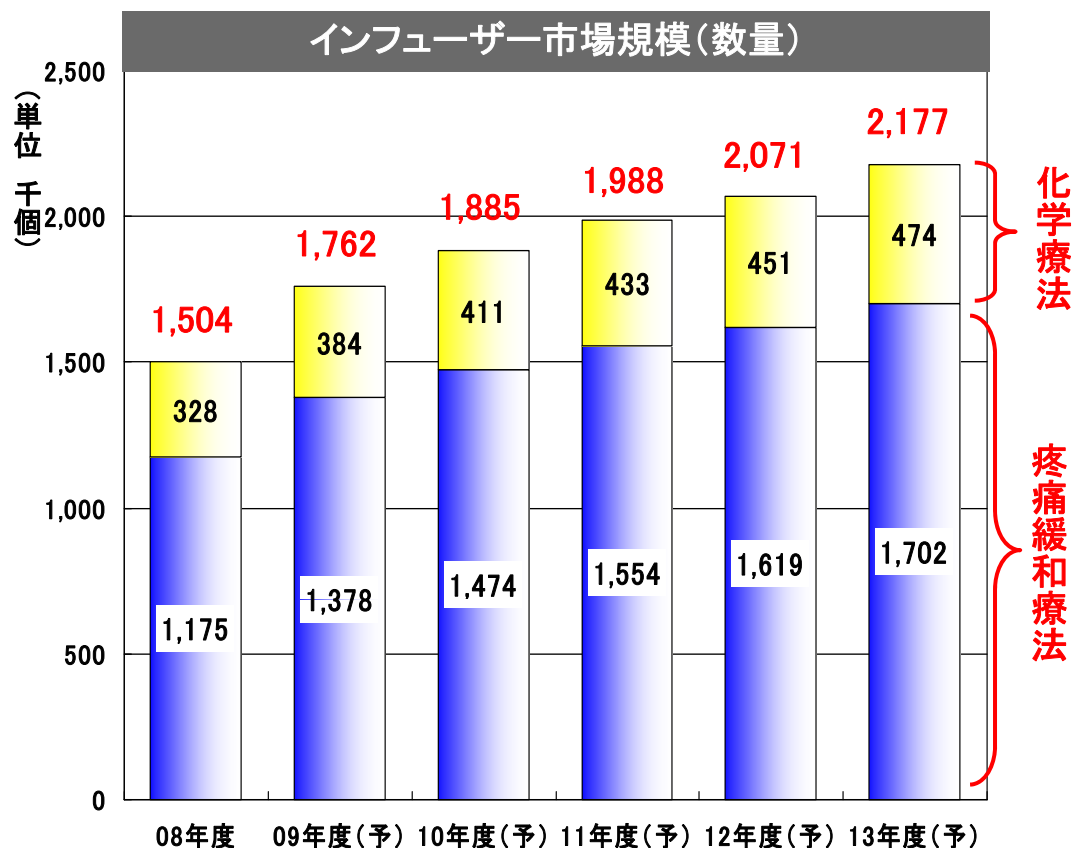
出典：矢野経済研究所「2009年版 汎用品市場の将来展望」

※当社病院実績情報より算出

手術室ではフィットフィックスがトップシェア

病棟においてもキューインポットがトップシェアを目指す

# シリンジェクター関連 ～新型PCAの開発(IV麻酔にも対応)



(出典) 08年度データ：矢野経済研究所「2009年版 汎用品市場の将来展望」  
09～13年度予測データ：08年度データを元に当社にて算出

## 競合他社の薬剤区分別構成比

(全体シェア及び薬剤区分比率ともに数量ベース)

| 2008年度 | 全体シェア | (うち、疼痛緩和療法比率) | (うち、化学療法比率) |
|--------|-------|---------------|-------------|
| バクスター  | 34.2% | 50.0%         | 50.0%       |
| 当社     | 28.6% | 100.0%        | 0.0%        |

(出典)  
矢野経済研究所「2009年版 汎用品市場の将来展望」を元に、当社分比率のみ当社にて算出

当社が進出していない化学療法領域への進出を目指す。



商品開発研究所(大阪府和泉市)

本資料及びIRに関するお問合せ先

**大研医器株式会社**  
管理本部 財務・経理グループ

TEL 06-6231-9917

URL <http://www.daiken-iki.co.jp/ir/>

本資料における将来の予想等に関する各数値、戦略等は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。実際の業績等は、様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。